

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 の報告が過去最多!

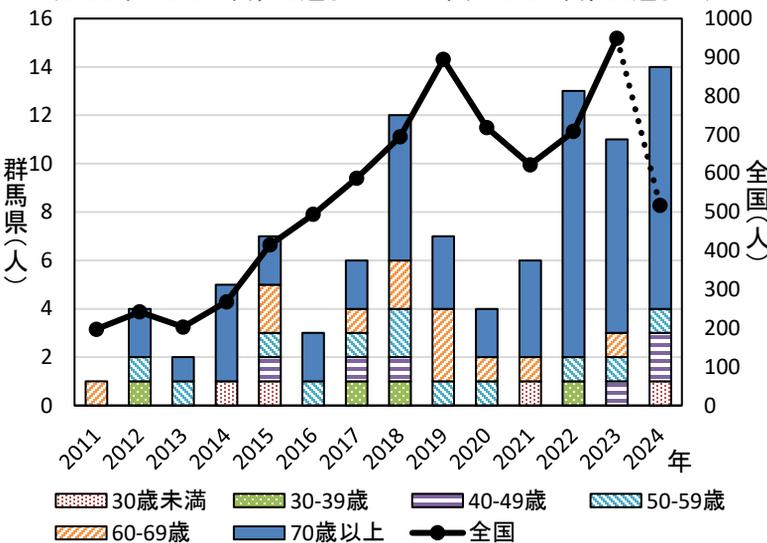


◆ 今流行っているの?

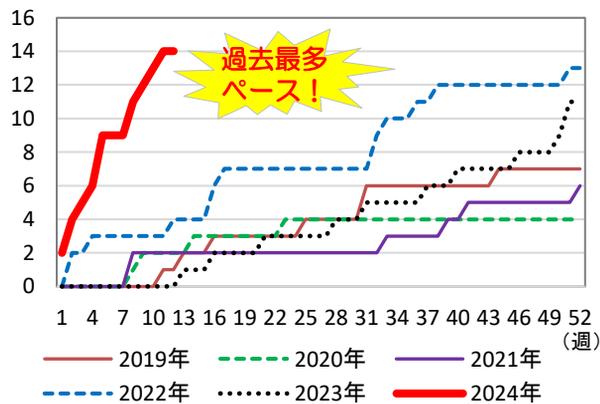
- 群馬県では2024年第12週(～3月24日)までに**14件**の報告があり、感染症法に基づく調査が始まった1999年以降で最も報告の多かった2022年の報告数(13件)を上回りました。
- 全国的にも、2022年以降増加傾向にあります。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症の報告数

(2011年～2024年第12週まで ※全国は2024年第11週まで)



群馬県の劇症型溶血性レンサ球菌感染症報告数(累計)



◆ どんな病気? ※5類定点把握疾患の「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎」とは区別されます。

- 病原体：主にA群溶血性レンサ球菌
- 年齢層：子ども～大人(特に30歳以上で多い)
- 感染経路：
 - 患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」
 - 細菌が付着した手で口や鼻(または傷口)に触れることによる「接触感染(創傷感染)」
- 症状：手足の痛みや腫れ、発熱、のどの痛み、血圧低下など。
発病から病状の進行が急激かつ劇的で、数時間以内に軟部組織壊死、急性腎不全、多臓器不全などを引き起こし、死に至ることも多い。

◆ 予防方法は?

- 石けんと流水による手洗いを行う。
- マスクを着用する。
- **傷を清潔に保ち**、傷周りの赤みや腫れ、痛み、発熱など、感染の兆候がみられたら、**直ちに医療機関を受診**する。



★群馬県において報告された全数把握感染症一覧(報告件数)はこちら
<https://www.pref.gunma.jp/page/3303.html>

